

日本コンクリート工学協会の 40 年の歩み

ー 四国支部設立にあたってー

徳島大学名誉教授 河野 清

1. 日本コンクリート工学協会の創設

前身の日本 ACI (American Concrete Institute Japan Chapter)

1962 (S37) 年 2 月 9 日設立、武藤清会長、会員 77 人。ACI 会長の特別講演。

会誌「コンクリート・ジャーナル」1958 年 2 月から発行。1963 年 4 月時点 142 人。

・日本コンクリート会議 (Japann National Council on Concrete)

1965 (S40) 年 7 月 12 日、日本 ACI を母体として設立、武藤清会長、会員 842 人。

1967 (S42) 年 4 月 25 日建設省の認可を受けて社団法人となる。

・日本コンクリート工学協会 (Japan Concrete Institute : JCI と略記)

1975 (S50) 年 5 月 26 日の第 8 回通常総会で名称変更、国分正胤会長。

会誌名も「コンクリート工学」となる。協会賞「論文賞」制定される。

なお、JCI 定款の第 2 章 (第 3 条) に目的を次のように記述している。

本協会は、会員相互の協力によって、コンクリート、鉄筋コンクリート及びその他の各種コンクリート並びにコンクリートに関する諸材料、機械 (以下「コンクリート」と総称する。) の研究、利用の進歩発達並びにコンクリートに関する技術の向上をはかり、併せてこれらに関する国際的協力を行い、社会の発展に寄与することを目的とする。

2. 日本コンクリート工学協会の組織

パンフレットの組織図参照。

定款の第 10 章に支部規定があり、(第 48 条) に「本協会は、理事会の議決を経て、必要の地に支部を置くことができる。」としている。

北海道支部・中部支部 (1993 年)、近畿支部 (1994 年)、東北支部 (1995 年)、

関東支部・九州支部 (1996 年)、中国・四国支部* : (1998 年)。

*中国・四国支部の設立総会は、1998 (H10) 年 3 月 18 日に広島弥生会館において本部から藤井敏夫会長出席の下で行われた。初代支部長に河野が推挙された。

他の学協会は四国支部となっており、1996 ~ 1997 年にかけて中国、四国地区に JCI の支部を新設する機会に、最初から四国支部を設置してはという要望が四国内の会員から強く出され、本部や中国・四国の理事とも連絡をとりながら、設置運動を行った。当時の仕入副会長から四国地区会員の総意なのですかとの問い合わせもあり、アンケートで 75%の会員が望んでいることも示したが、会員数が少なく、時期尚早ということで、中国・四国支部としてスタートすることになった経緯がある。

3. 日本コンクリート工学協会の沿革

パンフレットの沿革 (1960 ~ 2004) 参照。

・出版物特に英文論文について

コンクリート工学誌（1975年～）、コンクリート工学論文集（1990年～）

英文論文集（Transactions of the JCI, 1990～2001）、年1回発行、活用されていない

英文論文誌（Journal of Advanced Concrete Technology）、年3回、2003年より発行

対象は、Materials, Structures, Environment and Others である。

・資格認定試験について

コンクリート技士試験＊（1971年～） H16年度登録者数 35,931名

コンクリート主任技士試験（1972年～） H16年度登録者数 7,932名

コンクリート診断士試験（2001年～） H16年度登録者数 4,001名

＊第1回の試験のみ四国の高松市でも実施。第2回から広島、大阪等で受験。

4. 日本コンクリート工学協会の事業活動

JCI 定款第2章（第4条）に目的を達成するために次の事業を記述している。

（1）コンクリートに関する調査研究 （2）研究の連絡及び研究成果の普及

（3）会誌、研究報告及び資料の刊行 （4）講演会、講習会及び研究会の開催

（5）情報の収集、紹介及び交換 （6）技術向上を図るための資格試験の実施

（7）国際組織への参加、国際協力 （8）その他、本会の目的達成に必要な事業

パンフレットの事業活動参照。年次大会（1979年～）、表彰、継続教育なども。

5. 日本コンクリート工学協会の国際交流・国際協力

国際シンポジウム、国際セミナー、海外団体とのジョイントセミナー＊、

諸外国のコンクリート工学組織との連携－ACI, RILEM, fib, KCI, ACF など－、

国際委員会への代表派遣、アジアモデルコードの作成、

アジア諸国のコンクリート技術講習会への講師派遣等。

＊JCI/KCI ジョイントセミナー：第3回 慶州（2000年）、第4回 高知（2004年）。

OWICS（Our World in Concrete and Structures）：毎年シンガポールで8月下旬開催

6. 会員数の推移（平成17年3月31日現在）

（全体）：正会員 7,727 団体会員（第1種）52（第2種）332 計 8,101名

（四国）：正会員 220 団体会員（第1種）1（第2種）7 計 228名

平成15年がピーク（8,513名）で平成16年（8,383名）、17年と減少している。

・個人会員 入会金 1,000円、年会費 12,000円で、計13,000円必要。

・団体会員（第1種；コンクリート関連の公共機関、学術団体）5万円以上、

（第2種；JCIの事業を賛助する団体、会社）1級20万円以上～4級5万円以上。

7. その他

2002年7月から新ロゴマーク、公募し2014点中より決定。長崎市草野敬一氏の作品。

JCI 本部事務局は、1996（H8）年6月から現在の相互半蔵門ビル12階へ移転。

長瀬重義会長（H16・17）、田中健治郎理事（H16.11～）、吾子絃事務局長（S55.7～）